

元気な 漁村

水口憲哉
東京海洋大学名誉教授

海を守り、にぎやかに暮らす

I 共に生きる知恵

元気な漁村 村張りの定置網、養沢毛鉤専用釣場
共同組合はかつていい
漁村の相互扶助、その実例
先住民の知恵

II 元気な実例

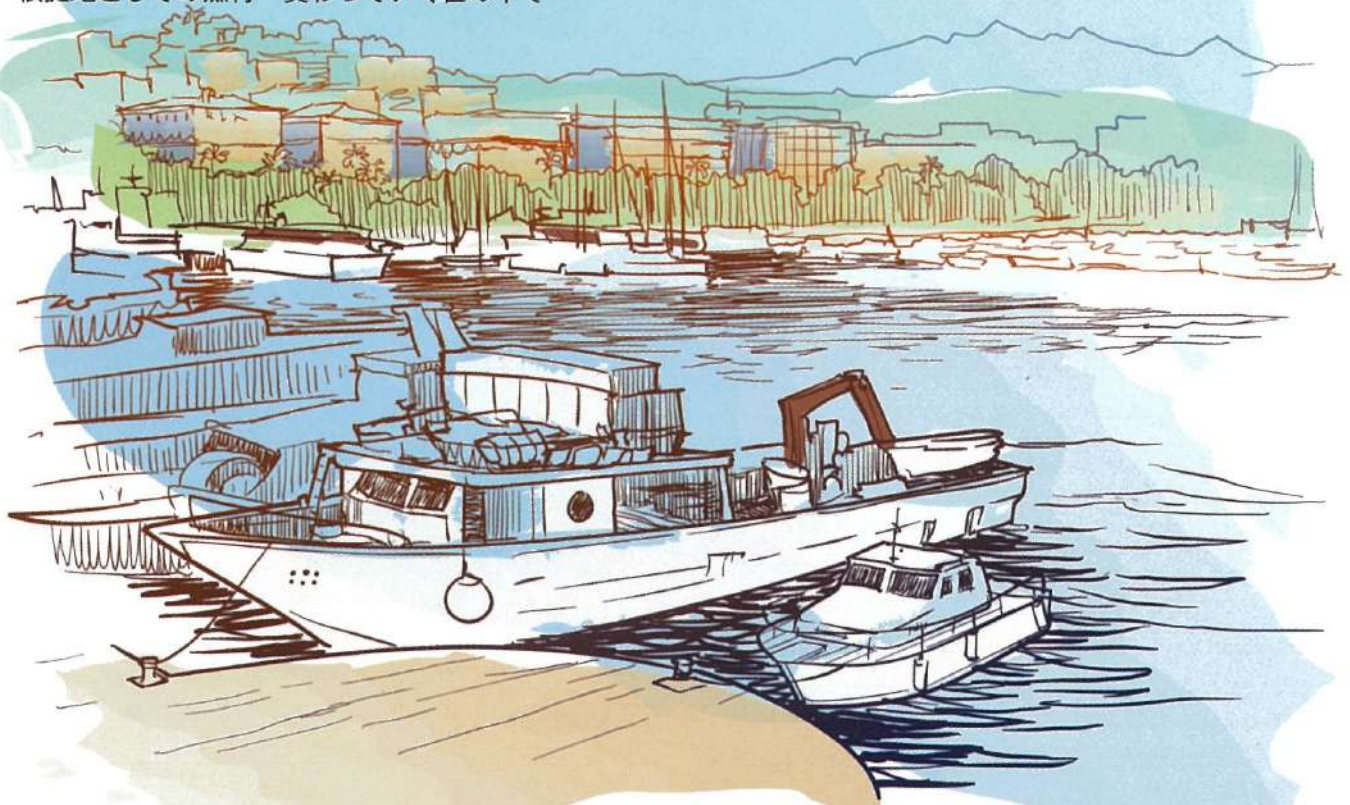
子どものにぎわいとは
各都道府県での子どものにぎわい一位の漁村
アイヌとサケ漁 北海道・石狩市の三つの漁村
小笠原の漁業の夢 東京都・父島と母島
若さの理由 富山県・岩瀬
山口県の三つの離島 浮島、角島、祝島
共同体が子どもを育てる 高知県・南国市久枝
福岡藩とベッドタウン 福岡県・糸島市
奥武島の再生 米軍基地と沖縄の貧困

III しぶとく確かな生き方

沖縄と子どものにぎわい
漁場破壊に立ち向かう 岩手県・重茂と米崎
相互扶助の経済 尊徳仕法と協同組合
各地の共同経営 北海道、兵庫、瀬戸内、沖縄
漁場を守れば 島根県・宍道湖のシジミ漁
元気な島の元気な漁村 利島、御蔵島、渡嘉敷島
海を活かしてにぎやかに暮らす 三浦半島・松輪
神津島が元気な理由
初島の行き方 静岡県・熱海市初島
何百年も変わらない未来へ 青森県・尻屋

IV 百年後の漁村へ

共同体の力 共同組合と相互扶助 生き心地の
いい社会 島の暮らしと新住民 資源維持について
根拠地としての漁村 変わっていく世の中で



はじめに

002

▽目次

004

▽本書に関連する主な地名の位置

008

I 共に生きる知恵

1 元気な漁村

村張りの定置網、養沢毛鉤専用釣場

010

2 共同組合はかつこいい

助け合いとつながりで時代を乗りきる

018

3 漁村の相互扶助、その実例

均等配分と寄付で成り立つ仕組み

027

4 先住民の知恵

アメリカ先住民、アイヌの人々の資源利用と漁業制度

035

II 元氣な実例

▽子どものにぎわいとは

▽（表）各都道府県での子どものにぎわい一位の漁村

5	アイヌとサケ漁	北海道・石狩市の三つの漁村	046
6	小笠原の漁業の夢	父島と母島の新しい漁業	054
7	若さの理由	富山県・岩瀬の元氣なエネルギー	063
8	山口県の三つの離島	自立する浮島、角島、祝島	071
9	共同体が子どもを育てる	高知県・南国市久枝の不思議	078
10	福岡藩とベッドタウン	福岡県・糸島市がにぎわう理由	084
11	奥武島の再生	米軍基地と沖縄の貧困を考える	090

III しぶとく確かな生き方

12	沖縄と子どものにぎわい	お金ではできない少子化対策	100
13	漁場破壊に立ち向かう	岩手県・宮古市重茂、陸前高田市米崎	108
14	相互扶助の経済	尊徳仕法——協同組合を中心とした連帯	114
15	各地の共同経営	北海道、兵庫、瀬戸内、沖縄の事例	120
16	漁場を守れば	島根県・宍道湖のシジミ漁	128
17	元気な島の元気な漁村	伊豆七島・利島、御蔵島、沖縄県・渡嘉敷島をめぐって	136
18	海を活かしてにぎやかに暮らす	三浦半島・松輪の漁業と釣り	144
19	神津島が元気な理由	過疎と少子化に抗する東京都・神津島	155
20	初島の行き方	静岡県・熱海市初島の観光	163
21	何百年も変わらない未来へ	青森県・下北郡東通村尻屋と共同体の明日	170

IV 百年後の漁村へ

▽共同体の力

179

▽共同組合と相互扶助

180

▽生き心地のいい社会

182

▽島の暮らしと新住民

183

▽資源維持について

185

▽根拠地としての漁村

186

▽変わっていく世の中で

188

引用文献一覧

190-191

※漁業センサス 農林水産省実施。漁業の生産構造、就業構造、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を把握し、日本の水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的に、漁業地区すべての世帯や法人を対象に行う全国一斉の調査。1949年（昭和24年）に始まり、1954年（昭和29年）以降は5年ごとに実施。最新は2023年の第15次センサス。本書では漁業センサスの数値を分析して、日本の漁村の実情と将来の姿を見通すことを試みた。

※引用文献

本文中に書名表示のない引用文献は巻末頁に一覧した。



著者紹介

水口憲哉 Kenya Mizuguchi

1941 年中国・大連生まれ。農学博士。原発建設や開発から漁民を守る「ボランティアの用心棒」。千葉県いすみ市岬町在住。資源維持研究所主宰。東京海洋大学名誉教授。

既刊単著一覧

『釣りとは科学』(1974) 産報出版

『反生態学』(1986) どうぶつ社

『海と魚と原子力発電所 ―漁民の海・科学者の海―』(1989) 農山漁村文化協会

『魔魚狩り―ブラックバスはなぜ殺されるのか』(2005) フライの雑誌社

『放射能がクラゲとやってくる ―放射能を海に捨てるってほんと?』(2006) 七つ森書館

『新版 魚をまるごと食べたい』(2007) 七つ森書館

『桜鱒の棲む川―サクラマスよ、故郷の川をのぼれ!』(2010) フライの雑誌社

『これからどうなる海と大地―海の放射能に立ち向かう』(2011) 七つ森書館

『淡水魚の放射能―川と湖の魚たちにいま何が起きているのか』(2012) フライの雑誌社

『原発に侵される海―温廃水と漁業、そして海の生きものたち』(2015) 南方新社

元気な漁村 海を守り、にぎやかに暮らす

2025 年 1 月 31 日発行

著者 水口憲哉

編集発行人 堀内正徳 校正 西村亮一

印刷所 (株) 東京印書館

発行所 (有) フライの雑誌社

〒191-0055 東京都日野市西平山 2-14-75 Tel.042-843-0667 Fax.042-843-0668

<http://www.furainozasshi.com/>